

## (3年社会科グループ発表学習) 基本的人権について考えよう

**ねらい：**論争の賛否両方の意見について、その根拠を調べ、自分なりの考えを持つ。  
(資料に基づいて考える、異なる意見を受け止める、意見をわかりやすく述べる)

**内容：**基本的人権をめぐる論争について、現実の具体的な問題を通して考える

- ・今日の社会で基本的人権はどの程度保障されているのか
- ・基本的人権が制限されてもやむを得ないのはどんなときか

(具体的なテーマ) (以下から8程度選択する予定)

1. 死刑制度を廃止すべきである
2. 首相は靖国神社を参拝すべきではない
3. 卒業式で国歌「君が代」を歌わなくてもよい
4. 日本に住んでいる外国人にも選挙権を認めるべきである
5. 女性は出産したら仕事を辞めて育児に専念するべきである
6. 結婚後も姓を変えなくてもよい (夫婦が別々の姓を名乗ってもよい)
7. 知的障害を持つ子どもも、希望があれば普通学級に通わせるべきである
8. 犯罪事件について加害者や被害者の実名を報道するべきではない
9. 夜9時から朝7時までの航空機の離着陸はやめるべきである
10. 延命治療を望まない尊厳死や安楽死を認めるべきである
11. 役所の職員や公立学校の先生などの公務員もストライキをしてよい

**方法：**賛否双方の意見の根拠を調べる。それぞれ憲法や法との関係を調べる。

問題についての事例を探し、どんな意見が出ているか、どんな動きがあるか調べる。

(現実になが問題になっているのか。対立点を表にまとめるなど整理しよう。)

(政府の見解や裁判の事例があれば調べてみよう。)

どんな人権をめぐる問題か調べ、関連する憲法や法の条文を調べる。

(憲法や法で、どのような権利が保障されている/いないか。それはなぜか。)

(外国ではどうなっているか調べると参考になる)

自分たちの意見をまとめる。

**調査の前に：**各自の意見とそう考えた理由を出し合う。迷っていることを出すとよい。

何を調べる必要があるか考え、調査計画を立てて、分担を決める。

**調査：**図書やインターネットなどで調べる。関係する人・団体にインタビューしてもよい。

**発表について (6/15～6/25)**

- ・賛否双方の意見の根拠、憲法や法の規定などを、資料を使ってわかりやすく発表する。
- ・グループの意見を示すこと。一つの意見にまとめる必要はない。
- ・1グループ15分程度 (毎時間2テーマ発表)。質問・意見を受ける時間を確保する。
- ・要点プリントを、遅くとも発表前日までにまとめ、先生に見てもらうこと。

### 他のグループの発表を聞くとき

- ・賛成・反対双方の意見の根拠が適切か考える
- ・発表者の主張に偏りがいないか注意する。
- ・自分の考えを答えられるようにする（発表後に自分の考えを書いてもらいます）
- ・わからないこと、納得の行かないことがあれば、遠慮せずに質問する。

### <注>

- ・上記は、生徒に配布したプリントからの引用である。
- ・グループ編成については、事前に、上記テーマについての賛否、調査希望テーマと調査したくないテーマを調べた調査結果をふまえて、賛否両方・男女双方が入るように教師がグループを編成した（調査したくないテーマを尋ねたのは、生徒の家庭環境や生育歴などに配慮したからである。なお、調査希望テーマ・調査したくないテーマは3つまでとした）。